

■基本計画案（骨子案）

基本構想				基本計画				
重点目標		政策		施策				
No.	重点目標名	No.	政策名	No.	施策名	施策の目指すまちの姿（目標）	施策の方向性の例示	
1 次代を担う人材を心豊かに育むまち（子育て・教育）	1 親も子も伊豆の自然とやさしさに包まれ、自分らしさを活かせるまちを目指します	1	子育て	1	子育て支援	・子どもたちが安心して成長でき、親子が楽しんで子育てできるまち	<ul style="list-style-type: none"> ・妊娠前から健康づくり、妊娠の正しい知識の普及やワーカーライフバランスに配慮した就労環境の整備を促進します ・地域や関係団体と連携しながら、子どもたちが過ごしやすい居場所づくりを提供します ・家庭教育講座をはじめとする支援事業により、安心して子育てができる環境を創ります ・妊娠・出産・子育てに関する経済的支援、広報の強化、子育て施設の充実を図ります 	
		1	2 一人ひとりが「生きる力」を着実に身につけ、教養・文化・スポーツを通して豊かな人生を送ることができるまちを目指します	1	多様化する社会に対応する教育環境づくり	・自分の強みを地域や子どもたちのために活かせる教育環境が整ったまち	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT機器の活用や、ALT・外国人材の活用により、子どもにわかりやすく幅広い学びを提供します ・学習支援教室や校内教育支援センター、一人一台端末を利用した学び等により、様々な状況に置かれた生徒が学びやすい形で学習が進められる体制を整えます ・実学・探究学習を進めます ・ワンストップ窓口など、福祉と教育が連携した窓口を設け、小学校、中学校段階の情報も共有されることにより、生涯にわたる支援が可能な体制づくりを進めます ・学校と地域の連携に向け、人材リストを整備・提供します ・地域における活動団体や活動内容などの情報提供ができる体制づくりを行います 	
		2		2	伊豆市が誇る文化・芸術資源の活用	文学を始めとした歴史・文化資源に市民が誇りと愛着をもち、郷土の魅力が広くPRされ、観光誘客につながるまち	<ul style="list-style-type: none"> ・文化芸術振興を通じて、市民が生きがいを発見し、豊かな人生の充実につながるよう、取組を進めます ・イベントや講座の開催、施設の充実などにより、文化資源や芸術に触れ合う機会を創出します ・無形民俗文化財に指定されている伝統芸能保存団体の活動を支援します ・「上の家」を地域の交流拠点の中心として、文学の魅力を伝えるための人材育成をします ・県の観光地域づくり整備事業補助金や、ふるさと納税を活用して、文化芸術を振興します ・歴史文化資源の現状把握、調査・研究をします 	
		3		3	ふるさとの魅力を学ぶ機会の創出	・地域に根ざした学びが展開され、ふるさとへの誇りと愛着をもつ伊豆っ子や市民が増えるまち	<ul style="list-style-type: none"> ・伊豆っ子宣言の啓発活動を継続し、ふるさとへの誇りと愛着を根付かせます ・ふるさと学級の充実を図り、ふるさとの魅力を発信できる伊豆っ子を増やしていきます ・伊豆総合高校との連携、中高生向けの学習環境の整備、小中学生向けの図書館見学や図書館体験活動、地域学習の実施など、学生の学ぶ機会を創出します ・総合的な学習などで、地域の民族芸能や文化財などを学び、後継者としての意識を醸成します ・ライフステージに応じたイベントや講座を実施します ・美術品や文学作品、自転車競技など多様な文化・スポーツに触れる機会を創出します ・子育て支援センターなどにこども園などに出向き、お話しの実施や修善寺図書館で開催している様々なプログラムを充実させます 	

基本構想		基本計画							
重点目標		政策		施策					
No.	重点目標名	No.	政策名	目指すまちの姿	No.	施策名	施策の目指すまちの姿（目標）	施策の方向性の例示	
2 安全・安心で心地よく暮らせるまち（安全・安心）	3 健康医療・福祉	主体的に助け合い、支え合う心が市民に行き渡り、誰もが住み慣れた地域で安心して快適に暮らせるまちを目指します	1	個人の行動と健康状態の改善	•市民一人ひとりが自発的に健康づくりや介護予防に取り組み、心身ともに健康で、自分らしく生きいきした生活を営めるまち	<ul style="list-style-type: none"> 受診しやすい健診（検診）体制を構築します 「げんきプロジェクト」を基盤とした健康づくりを推進します 健康づくり、介護予防について学ぶ機会を提供します ボランティア活動などの社会参加の機会をつくります 			
			2	スポーツによる健康増進	•市民がスポーツに親しみ、健康増進につながるまち	<ul style="list-style-type: none"> 様々な視点や「げんきプロジェクト」と連携することでスポーツに関心を持つ機会をつくり、スポーツ・健康づくり事業の付加価値の向上につなげます スポーツに無関層や苦手な人など、誰もが楽しくスポーツができる環境づくりに努めます 将来にわたり子どもが希望するスポーツを行える場の確保と指導者の育成を目指します 子どもから年配まで、安全・安心に自転車に乗れる取組を推進します 			
			3	社会環境の質の向上	•地域で安心して暮らすために支え合い、本人や家族が望む生活を継続できるまち	<ul style="list-style-type: none"> 市民が気軽に集まる地域の居場所づくりを支援します 高齢者の日常生活を支えるため、居場所づくり・移動支援・生活支援の仕組みづくりをします 突然の病気やケガ、時間外の急な体調不良に備え、かかりつけ医を持つ啓発を継続します 			
			4	共に支え合う地域福祉の推進	•制度や分野の枠、「支える側」と「支えられる側」という従来の関係を超えて、人と人、人と社会がつながり、一人ひとりが生きがいや役割をもちながら助け合って暮らせるまち	<ul style="list-style-type: none"> 障がい福祉サービス、相談支援や障がい者の特性に応じた生活支援の体制づくりに取り組みます 地域生活課題の解決に向けた体制構築に取り組みます 地域ボランティアの推進に取り組みます 「民生委員・児童委員」の活動等の周知を図ります 			
	4 防災	市民の安全を脅かす様々なリスクや災害に対応するための危機管理体制の構築や防災力の強化を図り、市民、事業者、行政等が連携・協力した、安全・安心で持続可能なまちづくりを目指します	1	災害などリスクに強いまちづくり	•災害死者ゼロを目指すとともに、災害発生時に迅速で効率的な復興を実現できるまち	<ul style="list-style-type: none"> 防災関連施設を含むハード整備を充実させます 防災公園である「ひなた公園」を活用し、防災意識の向上を図ります 建築物等の耐震化の向上に努めます 危険な空家の除却や活用できる空家の利用促進を図ります 事前復興まちづくり計画の策定に取り組みます 			
			2	災害死者ゼロを目指す地域力・防災力の強化	•市民一人ひとりが防災意識を高く持ち、有事の際にとるべき行動の理解が浸透し、共助の価値観が共有されている地域防災が強化されているまち	<ul style="list-style-type: none"> 市民一人ひとりの防災意識の醸成、防災行動の実践を推進します 自主防災会、事業所の防災意識の醸成、防災行動の実践を推進します 行政の危機管理体制の強化及び自主防災会等との連携強化により、防災・減災を推進します 消防団を中心とした地域防災力を充実・強化します 市民が安心して暮らせるよう、地域の防災力を高め、災害時の共助体制の構築に対する支援をします 			
			3	砂防・急傾斜事業促進による市民生活の安全・安心	•国や県の砂防・急傾斜事業が促進され、土砂災害への市民の不安が軽減されるまち	<ul style="list-style-type: none"> 国・県に砂防急傾斜事業を要望し、事業の促進を図ります 国・県と密に連携を図り、市事業と協働することにより、より効果的な事業を実施していきます 事業の見える化を進め、土砂災害への市民の不安軽減を図ります 砂防の防災学習を促進し、小中学生へ市内の砂防・急傾斜事業を周知します 			
	5 防犯	相談体制の充実と情報発信強化で詐欺やトラブルを未然に防ぎ、安心して暮らせるまちを目指します	1	地域で守る安全な暮らし	•地域で支え合うことにより、生活の不安を取り除き、安心して暮らせるまち	<ul style="list-style-type: none"> 消費生活に関する出前講座等を実施します 支援員の研修を通じた窓口対応を充実させます 警察や福祉センターとの連携を推進します 地域・団体と連携した防犯活動・交通安全運動を推進します 			

基本構想		基本計画						
重点目標		政策			施策			
No.	重点目標名	No.	政策名	目指すまちの姿	No.	施策名	施策の目指すまちの姿（目標）	施策の方向性の例示
3 人が集い活力あふれるまち（地域経済）	6 観光			多彩で豊富な観光資源の価値をさらに高め、関係人口・交流人口の増加による賑わいに満ちたまちを目指します	1	魅力の向上と持続可能な観光地域づくりの推進	・地域団体、事業者等と連携し、本市固有の魅力的な地域資源を活用するための新しい観光の仕組みを構築し、持続的に発展するまち	・地域の魅力発信を行う個人や法人の支援体制を強化します ・市民と連携して地域資源を再認識する機会を創出するとともに、地域資源の有効活用、魅力発信を進めます ・美しい伊豆創造センターなど、各自治体や団体等と連携した広域的な観光連携を実施します ・観光事業者や自転車関連団体等との連携により、観光客やサイクリストが自転車を楽しむことができる環境づくりを促進します ・自転車関連団体等と連携し、オリパラ競技会場の聖地化に取り組むとともに、国内外に向けた情報発信など、伊豆半島の知名度と好感度を高め、サイクルブランド力の向上を図ります
					2	新たな観光財源の確保	・官民一体となって、観光振興を行うまち	・法定外目的税などの観光目的財源確保に係る制度の導入を検討します ・事業者や団体、関係者と連携して、財源を考慮した、計画的な観光振興事業を検討します
3 人が集い活力あふれるまち（地域経済）	7 地域産業			企業誘致や支援、資源や技術の伝承により、地域経済が活性化され、活気に満ちたまちを目指します	1	企業誘致や雇用創出に向けた取組の強化	・企業誘致や留置により、新たな雇用等を創出するまち	・公共施設などを活用した企業誘致・留置の促進、サテライトオフィスへの誘致を進めます ・創業者支援制度の継続による支援、創業セミナーの開催及び創業相談会を実施します ・起業・創業支援の一環として、空き店舗の再生など、起業・創業環境を整えます ・近隣市町との連携による市内企業の雇用マッチングイベントの開催、外国人労働者の雇用支援を実施します ・経営者の高齢化・後継者不足に対応するため、事業承継を推進します ・中心市街地の活性化を促進します
					2	農林水産資源の多面的な活用	・農業をしながら幸せに暮らすライフスタイルが実現し、耕作放棄地が解消するまち	・遊休農地対策を進めます ・農業法人の誘致や新規営農者の確保に努めます ・農産物の高付加価値化を促進します ・森林環境譲与税活用し、林業従事者の増加に努めます ・森林の集積・集約化を促進します
					3	日本一の「わさびの郷」の創出と未来への継承	・地域と連携しながらわさびの付加価値を高め、美しい景観やブランドを次世代に継承するとともに、その魅力を広く発信し、農業の新たな可能性を創出するまち	・新規営農者及び後継者の確保に努めます ・苗の安定供給による生産性向上に取り組みます ・伊豆わさビジターセンターの利用率向上に取り組みます ・水わさび・畑わさび生産の取組を支援します ・畳石式わさびの栽培方法を保護します

基本構想		基本計画						
重点目標		政策		施策				
No.	重点目標名	No.	政策名	目指すまちの姿	No.	施策名	施策の目指すまちの姿（目標）	施策の方向性の例示
4 人と自然が調和した魅力あふれるまち（生活環境）	8 地域力	人と人のつながりにより生きいきとした生活を送れ、その輝きがさらなる人の流れを呼び込む好循環が生まれるまちを目指します	1	まちづくりの多様な担い手の育成	・様々なまちづくりに関する人の連携・協力があり、人を通して地域の魅力が共有・発信されるまち。		・市民による様々なまちづくり活動を支援します ・人を育て、人を通じて伊豆市の魅力を発信することで、将来の移住・定住につながる伊豆市ファンを増やします	
			2	新たな交流人口の創出	・魅力ある交流の機会をきっかけに、本市のファンや関係人口を創出するまち		・「伊豆市プロモーションセンター」などによるシティプロモーションをより一層推進するため、新たな活躍の場の提供など、活動しやすい環境の構築に取り組みます ・ふるさと納税額の拡大を促進します	
			3	空き家を活用した住環境の整備	・空き家が活用され、移住者・定住者が自分らしいライフスタイルを実現できるまち		・所有者及び利用者の双方にメリットのある空き家の活用方法を提案し、空き家の流通を促進します	
	9 地域インフラ	生活インフラ環境が整い、安全・安心で快適に住み続けられ、人々が集うまちを目指します	1	魅力あふれる拠点の創造	・各地区の魅力あふれる拠点づくりが進み、居心地が良く、歩きたくなるまち		・地域住民と連携しながら、地域の活性化と賑わいあるまちづくりを推進します。 ・魅力あふれる拠点の整備に、空き家活用とも連携しながら取り組みます	
			2	快適な公共空間の創出	・子育て世代が公園等に集い、子どもも親も伸び伸びと生活を楽しめるまち		・公園施設の安全・安心な維持管理を適正に継続し、さらなる魅力創出に努めます。	
			3	上下水道施設の適正配置	・上下水道の経営が安定し、安全な設備を整えることで、住民が安心して快適に暮らせるまち		・上下水道施設の耐震化を促進します ・下水道施設、農業集落排水施設の統合等により、施設の適正配置（統合・廃止・区域）を見直します ・給水エリアの見直し等により、施設の適正配置（規模・ダウンサイ징・廃止）を見直します	
			4	地域インフラの持続的な維持管理	・自分たちが暮らす生活道路を、自分たちで維持管理するまち		・安全な歩行空間を確保します ・地域づくり協議会等の関係団体と協働し、道路の安全維持管理をします ・道路・橋梁・トンネル・河川・漁港の老朽化に対応します	
			5	地域生活交通の確保	・住民と観光客のニーズを把握し、公共交通の適正な運行が行われているまち		・公共交通と住民主体の移動支援がバランスよく整備され、市民が移動に不便なく暮らせるよう支援します ・住民主体の移動手段の確保に向けた取組に対する支援をします ・免許を返納した高齢者に対するバス料金の補助等により、交通安全の確保とバスの利用促進を同時に推進します	
	10 環境	環境にやさしい取組が地域において推進され、自然保全、環境衛生が保たれたまちを目指します	1	里山の保全と有害鳥獣対策	・鳥獣被害から農林作物が守られ、美しい里山環境が保たれているまち		・鳥獣捕獲ICT化を導入し、捕獲効率化と狩猟者負担軽減、新たな担い手の確保に取り組みます ・鳥獣による農林作物食害対策のための侵入防止資機材購入経費の補助を継続します ・森林整備を加速化し、森林機能回復及び鳥獣生息域の復元に努めます	
			2	持続可能な環境未来都市の実現	・市民一人ひとりが日ごろから環境にやさしい取組を行うまち		・カーボンニュートラル（市内の温室効果ガス排出削減）の取組を推進し、環境負荷を減らすことで持続可能な環境未来都市を目指します ・市民、事業者、市の連携により3R（リデュース、リユース、リサイクル）の取組を強化します ・道路や河川の管理者とともに公共空間におけるごみのポイ捨てや不法投棄の監視体制を強化します	

基本構想		基本計画						
重点目標		政策			施策			
No.	重点目標名	No.	政策名	目指すまちの姿	No.	施策名	施策の目指すまちの姿（目標）	施策の方向性の例示
5 将来にわ たって持続 可能なまち (行財政 運営)	11 行政経営	財政状況に留意しつつ、市民のニーズや行政環境の変化を的確に把握し、信頼される持続可能な自治体経営を目指します	1	収納対策の強化	<ul style="list-style-type: none"> 効率的で透明性のある収納対策により、持続可能な財政を実現するまち 	<ul style="list-style-type: none"> 滞納の長期化を防ぐため、早期段階で催告等を実施します 多様な生活スタイルに対応し、相談窓口の時間を拡充します 専門家と連携し、複雑な滞納事案への対応を強化します 		
			2	財源の確保	<ul style="list-style-type: none"> 多様な財源確保策を推進することで、安定した市政運営が支えられるまち 	<ul style="list-style-type: none"> ふるさと納税の寄附者データを基にターゲットの絞り込みを行います 地域資源を活用した独自性の高い返礼品を開発します 企業版ふるさと納税を促進するため、情報提供や専門家の活用、企業への積極的な働きかけを行います 		
			3	市民サービスにおける利便性の向上及び事務事業の効率化	<ul style="list-style-type: none"> 行政手続きのオンライン化や総合窓口の設置により、いつでもどこでもだれもが行政サービスを受けられるまち 	<ul style="list-style-type: none"> 住民のライフスタイルに応じた窓口（総合窓口、行かない、書かない窓口）を検討します 包括的なアウトソーシング化を継続することで、市民サービスの向上を目指します デジタルデバイドを解消するための教育体制の確立と意識改革を実施します オープンデータ化を推進します よりよい行政サービスの提供のため、職員育成を図ります 		
			4	行政DXによる生産性の向上	<ul style="list-style-type: none"> 効率的かつ効果的な行政サービスの提供を行うことで、職員が本来担うべき業務に注力できるまち 	<ul style="list-style-type: none"> 自治体システムの標準化・共通化を推進します ノーコードツール、生成AI等を活用した業務の効率化及びペーパレス化を推進します 		
			5	公共施設の適正化	<ul style="list-style-type: none"> 公共施設や跡地が適正に管理・活用され、市民の利便性が確保されたまち 	<ul style="list-style-type: none"> 施設カルテを整備し、今後も利活用する施設と、老朽化・不要な施設を整理します 職員の公共施設マネジメントに関する意識醸成を図っていきます 限られた財源の中で、市民に必要な施設に必要な維持管理費用を充て、利用者の利便性の向上を図ります 公共施設の跡地活用を民間と連携して推進します 修善寺地区4小学校の再編成の方向性を検討します 中伊豆小学校の中伊豆中学校への移転を進めます 		
	12 参画・協働	地域づくり協議会を中心に、地域の課題を自らが考え、創意工夫を重ねていく、元気で開かれた地域づくりを目指します	1	開かれた地域づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> 地域づくり協議会等を中心に、共助のまちづくりが行われ、地域の独立性と連帯性が維持されるまち 	<ul style="list-style-type: none"> 地域づくり協議会設立支援に加え、地域づくり協議会の自立を促し、主体的な活動を支援します 多様性を尊重する共生社会の実現に向け、地域全体での意識醸成を進めます 		